



2024年7月24日

大阪大谷大学

阪南大学

独立行政法人都市再生機構 西日本支社

富田林市

2大学とUR・自治体による産官学連携の推進に向けて

大阪大谷大学・阪南大学・UR都市機構・富田林市の4者が包括連携協定を締結

大阪大谷大学（学長：浅尾広良）と阪南大学（学長：平山弘）、独立行政法人都市再生機構西日本支社（理事・西日本支社長：高原功。以下「UR都市機構」）、大阪府富田林市（市長：吉村善美）は、金剛地区の新たなまちづくりの推進に向け、2024年7月24日付で包括連携協定を締結いたしましたので、お知らせいたします。

■ 協定の目的

両大学が進める地域社会への貢献、地域連携、人的交流および学生・社会人の学びと、UR都市機構と富田林市が進める金剛地区の新たなまちづくりの実現に向け、4者が相互に連携し、互いの発展と金剛地区のエリア価値向上に寄与し、地区住民の生活の質のさらなる向上を図るとともに、持続可能で活力と発展性のある地域社会の形成をめざすことを目的としています。

■ 連携事項

- ✓ 金剛地区の活性化
- ✓ 金剛地区をフィールドとした課題解決に向けた実践的な教育・研究
- ✓ 大学間の相互教育及び学生間の交流

■ 連携の名称

KONGO Living Lab Project（以下「KLLP」）

◆協定締結の背景

金剛地区は、富田林市の中心部から西へ2~3kmに位置し、高度経済成長期に急速な都市化に伴う住宅難等に対応するため、UR都市機構(当時の日本住宅公団)により開発されたニュータウンです。

開発後は、充実した都市基盤と良好な住環境を備え、人口が集積する富田林市の西の玄関口として発展し、市全体の成長・発展を支えてきました。

開発後半世紀以上が経過した現在、人口減少・少子高齢化・施設の老朽化など様々な問題が顕在化しており、その諸問題の解決をはかるため、2021年10月に富田林市とUR都市機構西日本支社で包括連携協定を締結し、さまざまな取り組みを進めてきました。その後、地域課題の解決と、大学による地域社会への貢献等を両輪で進めるため、金剛地区をフィールドに4者で取り組みを進めることとなりました。

2023年度は、試行実施期間と位置付け、金剛地区をフィールドに実践的な教育・研究を実施しながら、連携内容や連携スキーム等を4者で検討し、このたび2024年度からの本格実施に向け、包括連携協定を締結する運びとなりました。

◆KLLPの特徴

KLLPでは、両大学ともに地域・社会連携担当が調整役となり、学部・学科横断で多種多様なプロジェクトを同時的・多面的に実施します。学部・学科や大学の枠を越えた相互の学びや学生同士の交流も実施され、これをUR都市機構・市でサポートする取り組みは、少なくとも大阪府内では初の試みであり、全国的にみても珍しい取り組みです。

◆KLLPが大学に与えるインパクト

学生がプレーヤーとして地域住民や他大学学生、企業、自治体等と関わる中で、地域の現状や課題、市民団体や自治体の取り組み等の専門知識を獲得でき、さらには主体性の醸成といった大きな学習効果を得られることが期待されます。

大学運営の側面からは、地域社会との関わりにおいて、どのように地域と共通する価値を創造し、大学の存在意義を打ち出していけるのか、これら検討のプロセスを参画4者および地域で共有することは、大学の大きな強みとなることが期待されます。

【報道関係者の皆さまのお問い合わせ先】

大阪大谷大学 地域連携センター 担当:岸本 TEL:0721-24-0381(代表)内線 2357

阪南大学 学長室 総務企画課 担当:浮田 TEL:072-332-1224(代表)

UR都市機構西日本支社 総務部 総務課(広報) 担当:表田 TEL:06-4799-1231

富田林市役所 金剛地区再生室 担当:塚本 TEL:0721-25-1000(代表)内線 452

【参考】試行実施時の取り組み(2023年度)

KONGO Living Lab Project



R5年度の大阪大谷大学による取組

① 子どもイベントの実施

人間社会学部履修科目

PBL科目「課題発見・解決演習(地域コミュニティ編)」において、学生が子ども向けイベントを企画し、∞KON ROOMとの連携により企画を実施

【実施状況】

R5.6 授業(課題等のインプット)

R5.7 授業(企画検討・発表)

R5.9 企画実施



子ども向けイベント「なぞぞうウォーク」の様子

② スタディーツアー

人間社会学部ゼミ

南花台(河内長野市)の事例(金剛地区に存在する・しない取組の内容やその成果・課題)について、地区住民とともに学ぶスタディーツアーを実施

【実施状況】

R5.7 企画案(1次)提示

R5.10 企画案(2次)提示

R5.12 スタディーツアー



企画検討の様子

スタディーツアーの様子

③ 講演会

地域連携センター

大学地域連携センター開設記念講演会シリーズの一環として、金剛地区と同様に高度経済成長期に整備された“ニュータウン”の活性化にかかる取組について関西大学名誉教授・江川直樹氏に講演いただき、住民・団体・大学関係者がともに学ぶ機会を実施

【実施状況】

R6.2.3 講演会開催@大阪大谷大学



KONGO Living Lab Project



R5年度の阪南大学による取組

① ウォーキングイベント

経済学部ゼミ

金剛地区周辺の魅力探し、キャンプカフェの候補探し、他大学や市との共同関係構築、ウォーキングコースの模索を目的に学内イベントとして実施

【実施状況】

R5.10.22



② 金剛マルシェ参加

経済学部ゼミ

学生が地域に関心を持ち、地域の方々と触れ合うとともに、地域課題の発見・解決を目的に、金剛マルシェに参加(R5.2~)

【出店状況】

R5.2 古着

R5.5 ベビーカステラ

R5.6 ベビーカステラ

R6.3 古着

※古着、ベビーカステラ、クロップル、かき氷、たこ焼きなど、新業態で参加を検討



③ わっくCafé出店

経済学部ゼミ

コミュニティビジネスの創出を目的にわっくCafé(地区住民による日替わりオーナー制コミュニティカフェ)に出店

【出店状況(黒亭ラーメン)】

R5.10.21

R5.10.22

R5.12.10

R6.1.8

R6.1.20

R6.1.28



④ キャンプカフェ

経済学部ゼミ

公共空間の有効活用、地域のくつろぎ空間の演出を目的に、金剛地区内の公園においてキャンプカフェを実施

【実施状況】

R5.10.22

R5.11.5

